

平成××年 11 月 13 日 曇	
時間	
始業前	職員朝会・全校朝会
1 校時	講話・曹操校長先生
2 校時	講話・××小の教育について・司馬懿教頭先生
3 校時	参加・学活 (5-1)、自己紹介 観察・国語 (5-1)、森を育てる炭作り
4 校時	観察・理科 (5-1)、てこのはたらき
5 校時	講話・学習指導について、劉備先生
6 校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;全校朝会&gt;</p> <p>××小学校の児童とはじめて対面した。普段、中学生ばかりと接しているため、小学生が特に小さくみえた。児童数も少なく、壇上からでも一人ひとりの顔がよく見えた。話す内容は、低学年にもわかるようにと心がけたが、本当にわかってもらえたかどうかはわからない。今後の実習生活を通して、ひとりでも多くの児童とふれあっていきたい。</p> <p>&lt;学校長講話&gt;</p> <p>小学校と中学校の異なる点として、常に一緒なので人間関係がより重要になることが挙げられる。人間なので、合う合わないがあるが、教師はすべての子どもに合わせなければならない。子どもの心をつかむためには、一緒に遊ぶこととけじめをつけることである。また、信頼を得るためには「わかる授業」を実践することが重要であり、教材研究をしっかりと行い、授業に全力を注ぐことが求められている。私は、この 2 点をこれからの教員生活においても常に念頭に置いていきたい。</p>	<p>&lt;教頭講話&gt;</p> <p>××小教育の特色についてのお話をいただいた。××小の良い伝統は、礼儀正しさとやさしさである。教育活動では地域行事等への参加も積極的に行っている。学校からお願いするもあれば、地域からの要望のものもある。教師は指導の際に、個々に応じた課題 (壁) をどのように設定し、克服させていくか考えていくことが大切であることを改めて感じた。また、保護者と上手に付き合っていくことも大切である。</p> <p>&lt;授業参観&gt;</p> <p>授業の導入で実験の結果を予想させ、発表させていた。実験は、全員が同時にできないものだったので、実験をしていない児童は、友だちの表情を見て予測させるなどの工夫がされていた。授業を準備する際は、発表する児童や、実験を行う児童以外にも気を配ることの大切さを実感した。</p> <p>&lt;劉備先生講話&gt;</p> <p>指導案作成において、目標と評価の整合性を考えることと、無理の無い評価計画を立てることが大切なことを学んだ。</p>

平成××年 11月 14日 曇	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	観察・学活 (5-1) 委員会からの報告、観察・国語 (5-1) 新出漢字
2校時	観察・国語 (1-1)
3校時	実習・数学 (5-1) 三角形・四角形の角
4校時	観察・家庭 (5-1)
5校時	観察・体育 (5-1)
6校時	講話・生徒指導について、周瑜先生
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;朝の会&gt;</p> <p>教師が行く前に、児童の手によって進められていたことに驚いた。朝の会で歌う歌も、ずいぶん難しそうな曲だとおもった。練習を重ねれば5年生でもパート分けが可能である。今日は、「先生から」でお話をさせていただいたが、連絡事項が多く、少々長くなってしまった。少しでもわかりやすいようにと、一日の流れに沿って話をしたが、話す順番をあらかじめ考え、時間を短縮するように心がけたい。床に落ちているゴミや、めだかの水槽の水くみなど、児童に気づかせる声かけも大切であることを学んだ。</p> <p>&lt;授業参観 学活 (5-1) &gt;</p> <p>学活では委員会の報告をしたが、何を言っているかわからない児童や、忘れていた児童への声かけが大切であることを学んだ。注意して言わせることは簡単であるが、気づかせるということが難しい。一人ひとりの実態に応じて、責任感や発表するちからを育ていくことが大切であると感じた。</p> <p>卓球室の無断使用についての話があった。身近な問題から、ひとりの勝手な行動は、みんなの問題として捉えていけるような学級運営が必要であると学んだ。</p>	<p>&lt;授業参観 国語 (1-1) &gt;</p> <p>元気いっぱい的一年生。教室に入った時の集まり方にはびっくりした。興味があるもの、めずらしいものに向って走る傾向があるので、休み時間と授業中のけじめをつけるためのルールづくりが必要である。この教室ではタイマーが使われていたので参考にしたい。授業は、ひらがなやカタカナを使ったビンゴだった。簡単なゲームであるが、子どもたちは興味を持って取り組んでいた。隣と用紙を交換させたのは、間違えた場合に気が付かせるというねらいがあった。工夫ひとつで授業もかわってくると学んだ。授業中の先生の表情ひとつ、リアクションひとつで、子どもたちの感じ方も違うと思うので、今後、気をつけていきたい。</p> <p>&lt;授業実習 算数 (5-1) &gt;</p> <p>机間指導で、個々に応じたヒントを出すように心がけたが、34人全員ができるまで待つことも難しく、どこで先に進んでよいものか悩んだ。結局時間を区切って、黒板で説明。その後、わからなければ質問に来るように話したが、質問には来ていない。練習問題の解答が中心の授業であったが、答え合わせの際に効率よくやらなければ、少ない問題でも終わらないので、以後、同時に進められることは進めるようにするなど工夫したい。</p>

平成××年 11月 15日 晴れ	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	観察・道徳 (5-1) 「外国人とともに暮らす」
2校時	観察・国語 (2-1) 「作文発表」
3校時	実習・数学 (5-1) 「四角形のしきつめ」
4校時	観察・国語 (5-1) 「森を育てる炭作り」
5校時	教材研究
6校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;授業参観 道徳 (5-1) &gt;</p> <p>「外国人とのつきあい方」という内容のテレビを見たあと、うまくつきあうためにはどうしたら良いかを聞いていた。しかし、テレビで言われていた「お互いに良く話し合う」ということについては、誰も答えられていなかった。テレビの中でいくら良いことを訴えていても、意外と伝わらないことを実感した。次に、身近な外国人として、英語講師の方とのやり取りを思い起こさせ、自分たちの身近な問題として考えさせていた。子どもたちは、自分のことに置き換えて考えることによって、テレビの中で言われていたことがわかってくるのだと思った。映像教材を見せる際に、どのようなフォローをしていくかを考えておくことの必要性を学んだ。</p> <p>&lt;授業参観 国語 (2-1) &gt;</p> <p>授業中はとにかく静かに話を聞いていた。作文発表のつづきで、発表するだけではなく、聞いている子ども達にも「よいとこさがし」として、発言する機会が多くあった。その内容も、作文の内容から話し方や姿勢に至るまで、じつに多くの視点で見ていることに驚いた。日ごろから、読む姿勢、聞く姿勢をしっかりと指導していくことで、2年生でもできるのだと知った。静かな授業環境を自分たちの手で作ろうとしていた。</p>	<p>&lt;実習・算数 (5-1) &gt;</p> <p>宿題の答え合わせから実施。三角定規を組み合わせる問題だったので、答えを出せる児童は多くいたが、説明を求められると困ってしまう児童も多くいた。自分の考えを式にしたり、みんなの前で考えを説明したりすることは大切な力だと思うが、この指導はなかなか難しいと感じた。平行四辺形や四角形のしきつめは作業だったので、みんな手を動かしていた。手を使っての作業は、手を動かすことによって試行錯誤できるので、今後にも必要に応じて取り入れていきたい。</p> <p>デジカメで撮影したものをテレビに映し、友だち同士の作品を鑑賞させたが、あまり感動がみられなかった。感想を聞いても反応が無かったのは残念である。このような授業の際に、全員分を撮影できないので、不公平感が出ないように配慮することが難しいと思った。</p> <p>&lt;帰りの会&gt;</p> <p>給食時間後に、泣いている児童がいた。おなじ班員からの嫌がらせを受けたという理由である。諸葛亮先生は、帰りの会後に班全員を残して、班の問題として考えさせていた。理由を自分たちの口から言わせ、なぜいけないのか、その後どうしたら良いのかを考えさせていた。注意するのは簡単であるが、自分たちの問題として考えさせ、相手の嫌がることはしてはいけないということ、徹底して繰り返し指導することが大切であると感じた。</p>

平成××年 11月 16日 曇り	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	観察・図工 (5-1) 「写生」
2校時	観察・国語 (3-1) 「詩」
3校時	実習・数学 (5-1) 「概数」
4校時	観察・体育 (5-1) ソフトバレーボール
5校時	観察・書写 (5-1) 「硬筆」
6校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;授業参観 図工 (5-1) &gt;</p> <p>図工の授業に入る前に、絵の具を忘れた児童が多かった。児童の中には、自分で友だちに借りるなどの解決法を考え、先生に報告できる子と、どうして良いかわからない子がいた。忘れ物をしたここそのものも良くないことであるが、自分から解決法を考え対処する力も育てていかなくは鳴らないものであると感じた。どうして良いかわからない児童には、友だちに相談させたり、意見を聞くように促したりしていた。それでもどうして良いかわからずに困っている子がいた。</p> <p>図工は準備に時間がかかったが、この件についても、準備を工夫するなどその対策を考えさせるような問いかけをしていた。自ら考え行動できるようにすることをあらゆる場面で指導していくことが大切だと思った。</p> <p>図工の授業を見ていく中で、個に応じたアドバイスの難しさに気づいた。絵を描くスピードの違い、丁寧にやる子と、ぱっぱとやってしまう子、下絵はうまくかけても色を塗ることが苦手な子など様々である。期間指導を通して、効率よくアドバイスをしていけないと、絵も進まないし、場合によっては取り返しがつかない状態になってしまうこともある。日ごろの指導から、誰がどんな特徴を持つか、実態を把握しておくことが大切だと学んだ。</p>	<p>&lt;授業参観・算数 (3-1) &gt;</p> <p>詩の授業の導入で曲当てクイズをするなど、児童の気持ちグッと授業に向くような工夫がされていた。導入を盛り上げるとその後の授業に対する意欲も増すのだと思った。</p> <p>発表をさせる時の工夫として、意見がある子は立たせ、同じ意見なら座らせるというやり方は参考になった。今後、場面に応じて取り入れてみたいと思う。クラスの中に、1名落ち着きがない児童がいた。その子の行動そのものにはあまり驚かなかったが、クラスの中で1名動きまわる子がいると、周りにも連鎖しかねない。全体的にザワついてしまいそうなところを、授業に集中させるポイントは何か知りたいと思った。</p> <p>&lt;実習・算数 (5-1) &gt;</p> <p>概数の授業を実施した。導入・展開・まとめと進める予定であったが、展開に時間をかけすぎてしまい、まとめが押し付け気味になってしまった。児童にかんがえさせながら、時間内に目標を達成するように進めることは難しいと実感した。</p> <p>&lt;観察・書写 (5-1) &gt;</p> <p>その時間に何を達成することを目的とするのかははっきりさせ、一人ひとりが目標を達成できるように指導を工夫することが大切であると学んだ。</p>

平成××年 11月 17日 曇り	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	実習・算数 (5-1) 「概数」
2校時	観察・家庭 (5-1) 「作っておいしく食べよう」
3校時	観察・国語 (4-1) 「一つの花」
4校時	観察・はぎっ子タイム (5-1) 「豚汁づくり」
5校時	実習・理科 (5-1) 「てこ」
6校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;授業実習 算数 (5-1) &gt;</p> <p>前時の振り返りのあと、グループを作って自作問題を作成させた。問題文を作ることが難しいことに加え、最終的にどのようなものになるのかというイメージを持たせられなかったことで、課題がなかなか進まなかった。教科書を参考に進めさせたが、具体的な文章題がなかったため、さらに難しく感じさせてしまったと思う。あまり事前に例を出しすぎると、子どもたちの自由な発想を制限してしまうことにつながってしまうかもしれないが、発問の仕方を工夫して、課題の見通しが立てられるようにすべきであった。</p> <p>&lt;授業参観 家庭 (5-1) &gt;</p> <p>実習中の子どもたちは生き生きしていた。体験を多く取り入れることは、意義のあることだと思った。教室で学んだことを実際にやってみることは非常に大切であると思う。実習の際は、個々の生活経験が様々であることや、安全面や衛生面、仕事が偏らないようにすることなど配慮することがたくさんあることを再確認できた。</p>	<p>&lt;授業参観 国語 (4-1) &gt;</p> <p>元気な4年生だった。何をしても楽しい時期なのだろうか。全員立たせて2回読んだ人から座って良い、「。」まで読んだら次の人が読み始める「まるリレー」などの指導方法は参考になった。発表している最中に詰まった子に、そこまでの要点やキーワードを言ってあげたり、途中で「良いことに気がついたね」と褒めたりして自信をつけていた。良い発言をした児童は褒めるということを大切にしていきたい。</p> <p>&lt;授業実習 理科 (5-1) &gt;</p> <p>理科の授業で前時のふり返りをもとに、実験の予想をたてるものを行ったが、イメージはできても言葉で表すと難しいという児童が多くいた。授業プリントでも、考えやすいようにキーワードを載せたが、そのキーワードを全部使って書かないといけないと思わせてしまい、難しくしてしまった。この部分の指示を明確にする必要があったと思う。最後のまとめは少々説得気味になってしまった。終了時間も間違えてしまったので以後気をつけたい。</p>

平成××年 11月 21日 曇り	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	実習・算数 (5-1) 「概数」
2校時	観察・家庭 (5-1) 「作っておいしく食べよう」
3校時	観察・国語 (4-1) 「一つの花」
4校時	観察・はぎっ子タイム (5-1) 「豚汁づくり」
5校時	実習・理科 (5-1) 「てこ」
6校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;授業参観 英語 (5-1) &gt;</p> <p>英語の時間はコミュニケーションが中心だった。会話や身体を動かしての活動は子どもたちがとても楽しそうに取り組むことができていた。嫌々やっている様子もなく、みんな積極的に活動し声をだしていた。最初は良くわからないものでも、慣れてくると子どもたちはすぐに楽しめるようだった。外国人の講師の方をお願いする時は、事前に打ち合わせをしっかりと行い、何をするのかお互いによく確認しておくことが、その授業を進める上で大切だと感じた。子どもの好奇心をくすぐり、気持ちを高めていくやり方は参考にしたいとおもった。</p> <p>&lt;授業実習 算数 (5-1) &gt;</p> <p>平行四辺形の面積の求め方を実施。前日の授業のまとめを確認し、そこから授業を進めようとしたが、反応が薄くて困ってしまった。発問に対する反応がないときはどのようにヒントを出したらよいか、わかっているのに自信が持てなくて答えられない子どもたちに</p>	<p>はどういうアドバイスが効果的か悩んだ。中には思っていることをどう表現してよいかわからない児童も多くいたと思う。ノートを書く速さも人それぞれで、全員が書き終わるまで待つととても時間がかかると思った。本来は、全員が書くまで待ちたいところであるが、早く書かせるということも大事だと思う。書きやすい板所を心がけるとともに、速く書くということも意識付けたい。</p> <p>&lt;授業参観 理科 (5-1) &gt;</p> <p>最初に前時までのふり返りをしたがなかなか反応がなかった。20分かけて復習をしていたが、本当に定着させるためには繰り返しの指導が大切だと思った。前にやったことでも毎回振り返りながら進めていかないとついていけなくなると感じた。</p>

平成××年 11月 21日 曇り	
時間	
始業前	職員朝会
1校時	実習・算数 (5-1) 「概数」
2校時	観察・家庭 (5-1) 「作っておいしく食べよう」
3校時	観察・国語 (4-1) 「一つの花」
4校時	観察・はぎっ子タイム (5-1) 「豚汁づくり」
5校時	実習・理科 (5-1) 「てこ」
6校時	教材研究
放課後	指導教諭との打ち合わせ・実習日誌の記録・教材研究
<p>所感・反省</p> <p>&lt;授業参観 国語 (5-1) &gt;</p> <p>前時のふり返りで、ノートに書いてあるのになかなか言ってもらえないことは大変だと思った。キーワードになるものを探したり、段落の小見出しを考えさせたりすることも、順を追ってヒントを出しながらやっていかないとなかなか進まない。考えて表現する力を育てていくことは時間がかかることだと感じた。</p> <p>教師の発問に対して手が上がらないときは、少し時間をおいてから挙手させたり、ノートを書くことをいったん止めさせて教師の発問に集中させたりするなどの工夫がされていた。このようにして、全員に「考えさせる」機会を設けていくことが大切だと学んだ。</p> <p>ノートを書き写すことで精一杯になり、授業にだんだんついていけなくなるようなことがないように配慮したい。</p> <p>&lt;授業実習 算数 (5-1) &gt;</p> <p>研究授業前の最後の算数だった。今回出てきた平行四辺形の面積の求め方が次の授業に生かされることを期待したい</p>	<p>&lt;授業参観・総合 (5-1) &gt;</p> <p>総合は悪天候のため地域に出での調査活動ができなかったのが残念である。今日は調査の報告を作成する際に必要な地図をOHPで拡大し、模造紙に書き写す作業だった。全員で同時にできないものだったので、班内で分担して順番に作業をさせるという工夫がされていた。その際、作業にかかわることができない児童には、読書タイムにしたり、課題に取り組む時間にしたりと時間を有効に活用させていた。</p> <p>この作業は協力して取り組むものなので、お互いに声をかけ合うように促し、どうやったらうまくいくか考えさせることも大事だと思った。さらに、作業にあたっては、まず落ち着かせて、ゆっくり説明をしてから作業をさせていた。子どもたちはめずらしい機会を使い、仲間と一緒に活動するという事でテンションが高くなっているので、こうした配慮は必要なことだと学んだ。</p>